

# 日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社  
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4  
電話 03-3820-2500

## 苦小牧でバイオマス発電

### 双日と日本製紙

国内最大級のバイオマス発電設備を建設する。双日(東京都、藤本昌義社長)と日本製紙(同、馬城文雄社長)は、小牧市で両社共同でバイオマス発電事業の敷地内に合弁会社「バイオマス発電株式会社」を設立し、バイオマス発電設備を建設する。規模は、チップ換算で60万トン、2020年3月に着工し、営業運転開始を目指す。双日は、バイオマス発電事業の初め、バイオマス発電事業を推進する。双日は、バイオマス発電事業を推進する。双日は、バイオマス発電事業を推進する。

## 丸太、立木とも販売 主伐シフト、新植拡大

2019年度の国有林の林産物販売量は、丸太販売3000立方メートル(前年度比4.1%増)、立木販売3000立方メートル(同3.5%増)、丸太換算178万8000立方メートル(同3.5%増)の予定が前年度比5.4%増、間伐が同3.4%増、主伐シフトの傾向が明確に出ている。主伐の増加による面積は、一貫作業システムなど再造林の低コスト化される。

国有林の事業予算は、19年度当初予算が、重要インフラ緊急点検等を踏まえた臨時大幅増

## 国内最大級の

バイオマス発電設備を建設する。双日(東京都、藤本昌義社長)と日本製紙(同、馬城文雄社長)は、小牧市で両社共同でバイオマス発電事業の敷地内に合弁会社「バイオマス発電株式会社」を設立し、バイオマス発電設備を建設する。

## の判に

バイオマス発電事業を推進する。双日は、バイオマス発電事業を推進する。双日は、バイオマス発電事業を推進する。

## 5月に 学校・文教施設向け天井材発売

大建工業 (大阪市、徳田正則社長)は、21日に学校・文教施設への提案力強化を目的に、高性能天井材「スクールトーン」を発売する。また、ビルやオフィス、店舗などの公共施設向け不燃天井材として幅広く採用されているロックウール吸音板「ダイロートン」のラインアップ強化を図る。



高い性能を誇るスクールトーン

住宅分野の施設分類ごとに求められる性能を特定し、それを付与した製品展開を進めることだった。第一弾として、2018年2月に医療・福祉施設をターゲットに消臭性能を付与した天井材「メディカルトーン」を発売した。今回のスクールトーンは、この取り組みの第二弾となる。

## ドラマで化粧合板使用

### アイカ工業

アイカ工業(名古屋)は、小野勇治社長の化粧合板が、現在TBSで毎週日曜夜に放送中のドラマ「集団左遷!!」で使用されている。俳優の福山雅治さんらが出演するこのドラマは、メガバンク「三友銀行」が舞台。銀行本店役員会議室のテーブルや主人公が勤務する銀行支店ロビーの壁面やカウンター側面、支店長室前廊下などにアイカ工業のポリエステル化粧合板「ラビアンポリ」が使用されており、空間演出に貢献している。

全面改装して設けたもので、合計の床面積は約135平方メートル、2階はモデルルームとメインスタジオルーム、4階はマルチルームと屋上ルーフトップコートで構成。住宅設備として最新のシステムキッチン3種類とバスルーム、洗面化粧台2種類、トイレ3種類を導入している。内装面では、壁にはクロスや塗り壁、タイルを使用し、それぞれを比較できるように展示、床材も随所で仕様を変えて空間展示し、ブラックウォールナット厚張りフローリングやオークムクフレンチヘリンボーンなど多様な製品を使用して木質感を際立たせている。今後は、住まいにこだわりを持つ施主層を対象に体感ショールームとして活用するほか、ワークショップやセミナー、撮影スタジオ等に利用できるレンタルスペースとしてオープン展開していく。



新設のREALリビングスタジオ

社長の、住宅買取再販業者としては名古屋地区初となる体感型ショールーム「REALリビングスタジオ」を10日に開設した。主力事業であるリビングショールームを幅広く体験できる場としたほか、都市部の立地の良さを生かしてセミナー等に利用できるレンタルスペースとして展開していく。新ショールームは、中区新栄にある自社ビルの2階と4階を